

平成23年5月31日

<b>学 校 目 標</b>	<p>人権尊重の精神を貴重として、生徒一人ひとりが社会の変化を主体的に捉え、夢と希望をもって「主体的に生きること」「自らを生かすこと」ができる「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を目指し、次のような教育目標を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら学び、考え、実行する生徒</li> <li>○互いに協力し合い、責任を持つ生徒</li> <li>○身体を鍛え、健康で心豊かな生徒</li> </ul> <p style="text-align: right;">※校訓「元気」「根気」「勇氣」</p>
<b>目指す学校像</b>	<p>(1) 一人ひとりの生徒を大切にできる学校</p> <p>(2) 教育活動が充実した学校</p> <p>(3) 保護者・地域とともにつくる学校</p>
<b>目指す子ども像</b>	<p>(1) 自ら進んで学び、将来の夢に向かって、今を大切に努力する生徒</p> <p>(2) 思いやりの心を大切にして、自分の行動に責任を持つ生徒</p> <p>(3) 心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦して成し遂げる生徒</p>
<b>目指す教師像</b>	<p>(1) 一人ひとりの目を向け、生徒のために労を惜しまない教師</p> <p>(2) 常に自己研鑽を積み、教えることに強い使命感を持つ教師</p> <p>(3) すべての教育活動に積極的に取り組み、組織的に運営できる教師</p>

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準	
				取組（努力）目標	成果指標
豊かな人間性の育成	人権教育を重視して、基本的な生活習慣を確立	あじみこしの定着 ・挨拶と返事 ・時間を守る ・身だしなみ ・言葉づかい ・姿勢	あいさつ運動 教員と週番（遅刻点検）	4 「あいさつ運動」の毎日実施	4 生徒の80%が元気よく挨拶できる。
				3 「あいさつ運動」80%の日程で実施	3 生徒の70%が元気よく挨拶できる。
				2 「あいさつ運動」70%の日程で実施	2 生徒の60%が元気よく挨拶できる。
				1 「あいさつ運動」60%の日程で実施	1 生徒の50%が元気よく挨拶できる。
			身だしなみ点検（全校朝礼）	4 全校朝礼で毎回実施	4 生徒の90%問題なし
				3 全校朝礼で80%実施	3 生徒の80%が問題なし
				2 全校朝礼で70%実施	2 生徒の70%が問題なし
				1 全校朝礼で60%実施	1 生徒の60%が問題なし
				言葉づかい姿勢の指導（普段からの声かけ）	4 80%の教育活動実施
			3 70%の教育活動実施		3 各教科で60%以上実施
			2 60%の教育活動実施		2 各教科で50%以上実施
			1 50%の教育活動実施		1 各教科で50%未満実施
			確かな学力向上と定着	基礎・基本を大切に、「わかる」実践	学習習慣を身につける
3 授業日80%で実施	3 各学年で80%以上実施				
2 授業日70%で実施	2 各学年で70%以上実施				
1 授業日70%未満実施	1 各学年で70%未満実施				
生徒の授業評価の実施（年2回）	4 全生徒が実施	4 おおむね満足70%以上			
	3 生徒の90%実施	3 おおむね満足60%以上			
	2 生徒の80%実施	2 おおむね満足50%以上			
	1 生徒の80%未満	1 おおむね満足50%未満			
家庭学習の充実を図る。（宿題）	4 授業日60%で実施	4 5教科で50%実施			
	3 授業日50%で実施	3 5教科で40%実施			
	2 授業日40%で実施	2 5教科で30%実施			
	1 授業日40%の実施	1 5教科で30%未満実施			
学習環境の改善（掲示ボードの活用）	4 全教科が活用	4 全教科毎月改訂			
	3 70%の教科が活用	3 70%の教科毎月改訂			
	2 50%の教科が活用	2 50%の教科毎月改訂			
	1 50%未満	1 50%未満			

	中期経営 目標	短期経営 目標	具体的方策	評価指標・評価基準			
				取組(努力) 目標	成果指標		
		授業力の 向上	放課後の 補習教室 「週2日」	4 授業日 70%の実施	4 生徒平均 10%参加		
				3 授業日 60%の実施	3 生徒平均 7%参加		
				2 授業日 50%の実施	2 生徒平均 5%参加		
				1 授業日 50%未満	1 生徒平均 5%以下参加		
			電子黒板 の活用	4 3割の教員が活用可	4 毎日2教科以上使用		
				3 2割の教員が活用可	3 毎日1教科以上使用		
				2 1割の教員が活用可	2 不定期に使用		
				1 1割以下	1 ほとんど使用しない		
			教員の外部 授業研 修参加	4 90%の教員が実施	4 70%の教員が授業改善		
				3 80%の教員が実施	3 60%の教員が授業改善		
				2 70%の教員が実施	2 50%の教員が授業改善		
				1 70%未満が実施	1 50%未満の授業改善		
開 か れ た 学 校 づ く り 等	学校からの 情報提供	情報を発 信	学校だよ りとホー ムペー ジ更 新	4 毎月2回発信・更新	4 70%満足		
				3 毎月1回発信・更新	3 60%満足		
				2 毎月1回以下	2 50%満足		
				1 不特定の発信・更新	1 50%未満		
	PTA・地域と の連携強化	評価で検 証	学校評価 (内部評 価・関係 者評価・第 三者評価)	祭りの巡 回	4 年2回80%回収	4 全項目70%概ね満足	
					3 年2回70%回収	3 全項目60%概ね満足	
					2 年1回60%回収	2 全項目50%概ね満足	
					1 年1回60%未満	1 全項目50%未満	
		地域行事 参加と巡 回			4 教員70%参加	4 関係者評価70%満足	
					3 教員60%参加	3 関係者評価60%満足	
					2 教員50%参加	2 関係者評価50%満足	
					1 教員50%未満参加	1 関係者評価50%未満	
特 色 あ る 学 校 づ く り	研究校とし てのまとめ と発信	習熟度別 少人数指 導	習熟度別少 人数指導 (数・理)	4 生徒授業評価80%満足	4 都学力調査の知識10%向上		
				3 生徒授業評価70%満足	3 都学力調査の知識5%向上		
				2 生徒授業評価60%満足	2 都学力調査の知識変化無		
				1 生徒授業評価50%満足	1 都学力調査の知識低下		
	特別支援教 育の充実	委員会定 例化と情 報保証	校内委員 会の実施		4 毎月1回定期的実施	4 委員90%参加	
					3 毎月1回不定期実施	3 委員80%参加	
					2 毎月1回開催できず	2 委員70%参加	
					1 ほとんど開催なし	1 委員70%以下	
	選ばれる学 校づくり		学校公開 年3回		4 外部参加100名以上	4 新入生100名以上	
					3 外部参加80名以上	3 新入生90名以上	
					2 外部参加50名以上	2 新入生81名以上	
					1 外部参加50名以下	1 新入生80名未満	
	思いやりと 規範意識の 向上	ボランテ ィア活動	はーとふ る学習		4 年10回の実施	4 生徒概ね満足80%	
					3 年8回の実施	3 生徒概ね満足70%	
					2 年6回の実施	2 生徒概ね満足60%	
					1 年6回以下の実施	1 生徒概ね満足60%未満	
夏のボラ ンティア への参加						4 昨年度参加実績10%up	4 生徒概ね満足80%
						3 昨年度参加実績5%up	3 生徒概ね満足70%
						2 昨年度参加実績同等	2 生徒概ね満足60%
						1 昨年度参加実績低下	1 生徒概ね満足60%未満

様式 2

平成23年度墨田区立向島中学校 経営報告書

平成24年3月19日

<b>学 校 目 標</b>	<p>人権尊重の精神を貴重として、生徒一人ひとりが社会の変化を主体的に捉え、夢と希望をもって「主体的に生きること」「自らを生かすこと」ができる「知・徳・体」の調和のとれた生徒の育成を目指し、次のような教育目標を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自ら学び、考え、実行する生徒</li> <li>○互いに協力し合い、責任を持つ生徒</li> <li>○身体を鍛え、健康で心豊かな生徒</li> </ul> <p style="text-align: right;">※校訓「元気」「根気」「勇氣」</p>
<b>目指す学校像</b>	<p>(1) 一人ひとりの生徒を大切にしている学校                  (2) 教育活動が充実した学校                  (3) 保護者・地域とともにつくる学校</p>
<b>目指す子ども像</b>	<p>(1) 自ら進んで学び、将来の夢に向かって、今を大切に努力する生徒                  (2) 思いやりの心を大切にして、自分の行動に責任を持つ生徒                  (3) 心身ともに健康で、何事にも根気強く挑戦して成し遂げる生徒</p>
<b>目指す教師像</b>	<p>(1) 一人ひとりの目を向け、生徒のために労を惜しまない教師                  (2) 常に自己研鑽を積み、教えることに強い使命感を持つ教師                  (3) すべての教育活動に積極的に取り組み、組織的に運営できる教師</p>

1 自己評価の結果

	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価の観点	評価	分析コメント
<b>豊かな人間性の育成</b>	人権教育を重視して、基本的な生活習慣を確立	あじみこしの定着 ・挨拶と返事 ・時間を守る ・身だしなみ ・言葉づかい ・姿勢	あいさつ運動教員と週番（遅刻点検）	実施回数 生徒の実施状況	4	生活指導担当や副担任等による遅刻点検を実施した。生徒会役員や生活委員会の参加により活性化を図れた。
			身だしなみ点検（全校朝礼）	実施回数 生徒の点検状況	3	身だしなみは、おおむね良くなっているが、一部の指導が不十分であった。特に女子の髪型の指導が課題である。
			言葉づかい姿勢の指導（普段からの声かけ）	教員の指導状況 各教科の指導状況	3	教員の言葉遣いや生徒の目上の者に対する言葉使いに課題がある。授業中の姿勢も含めさらに強化する。
<b>確かな学力向上と定着</b>	基礎・基本を大切に、「わかるできる授業」の実践	学習習慣を身につける	朝読書と朝学習の実施	実施状況回数 各学年の実施状況	3	落ち着いてやってはいるが、まだ不十分である。学年差があるので改善を図る必要がある。
			生徒の授業評価の実施（年2回）	生徒の実施状況 おおむね満足の数	3	教科によって私語がある。指導力・授業規律の確立等、校内研修・面接で改善を図る。
			家庭学習の充実を図る。（宿題）	授業日の実施回数 5教科の実施状況	3	5教科で宿題を出すことが増えている。今後とも一層の基礎学力向上を図る。
			学習環境の改善（掲示ボードの活用）	教科の実施状況 ボードの改訂時期	4	教員の教室や廊下等の掲示に対する意識が向上してきている。昨年度よりも学習内容に準じたものとなった。掲示の更新も順次行っている。
		授業力の向上	放課後の補習教室「週2日」向島ゼミナール	授業日の実施状況 生徒の参加状況	4	申込みをしている生徒数は約1割だが、学習習慣の定着や基礎的な学習の補充ができてきている。来年度は、入試対策や検定試験対策等も盛り込み向島ゼミナールのさらなる改善を図る。

			電子黒板の活用	教員の活用状況 授業改善への活用状況	3	英語と社会の教員が常時使用している。将来、活用ができるように校内研修を実施する。
			教員の外部授業研修参加(TPT)	教員の実施状況 授業改善への活用状況	4	考査期間や空き時間を活用して、全教員が外部の授業を参観、もしくは講師による参観指導を受けることもできた。昨年度よりも授業力の向上を図ることができた。
開かれた学校づくり等	学校からの情報提供	情報を発信	学校だよりとホームページ更新	ひと月の発信・更新状況 保護者の満足度	4	生徒ばかりでなく、地域や関連小学校への配布も行い、好評である。HPも週3回くらいのペースで更新している。
		評価で検証	学校評価(内部評価・関係者評価)	年2回のアンケートの回収数 おおむね満足の数	3	今年度は第三者評価を実施した結果、A及びB評価を得ることができた。内部評価を含め、改善点を明らかにし、全教職員で取り組む。
	PTA・地域との連携強化	地域行事参加と巡回	祭りの巡回	教員の参加状況 関係者評価の満足度	4	PTA 役員や地域の方々と共に全教員がいずれかの巡回に参加した。来年度以降も続ける。
特色ある学校づくり	都の研究校としてのまとめと発信	協議会の開催	東京都習熟度別少数指導実践推進校	協議会の参加 都や区の学力調査の生徒の結果	4	1月の研究協議会では小中の教員約90名の参加があった。都や区の学力調査で理・数教科の数値的な向上がみられた。来年度も引き続き、さらなる研究を進め、授業改善に活用する。
	特別支援教育の充実	委員会定例化と情報保証	校内委員会の実施	月1回の定期的な実施 委員の参加率	4	計画した日程通りに実施ができた。通常学級における特別支援を必要とする生徒の共通理解・共通指導を図るきっかけができた。
	選ばれる学校づくり		学校公開年3回	1回の外部からの参加数 新入生の数	4	外部・内部からの保護者の参加数が増加した。来年度も3回実施する。新入生は、4クラス125名となった。
	思いやりと規範意識の向上	ボランティア活動	はーとふる学習	1年の学習回数 おおむね満足の数	3	人権啓発講演会や福祉講演会(盲導犬体験)等を実施した。生徒は興味を持って参加することができた。
			夏のボランティアへの参加	昨年度比較参加実績の伸び率 おおむね満足の数	3	三保教諭が率先して、ボランティア活動への参加を呼びかけ昨年度よりも増加した。

## 2 学校関係者評価の結果

別紙：保護者のアンケート（ホームページに掲載）

## 3 第三者評価の結果（対象校(園)のみ記入）

第三者評価（11月10日付）

### ○大項目の評価

- 各教科の状況（A・A）
- 児童生徒の状況（B・B）
- 学校の管理運営の状況（B・B）
- 学校・家庭・地域の連携協力の状況（A・B）

### ○学校・園の総合的な状況

- ・教員組織においては、校内研究・研修の一環として、各教科共通の指導案の作成についての検討を行っていることとのである。どうしても教科別になりがちな中学校の研究体制としては興味深い取組である。
- ・都の研究推進校を受けるなど、組織的に研究する体制を整えて、授業改善を図ろうとしており、その結果については大いに期待したい。
- ・学習習慣が十分に身に付いていない生徒がいるとのことであるが、家庭における学習習慣の確立は、学力の向上にとっては欠かせない要素であるので、現在でも「放課後ゼミナール（向島ゼミナール）」等の取組が実施されているが、さらなる工夫と改善が期待される。
- ・日常的な教育活動に加えて、統合に向けての取組を同時に行わなければならない。このことを十分に踏まえ、本校だけでもできること、相手校と合同でないといけないこと等を精査して、計画的に準備することが必要であろう。
- ・統合後の在り方について、これからも保護者と地域との交流は大きな課題であろう。不安感や不信感を抱かれないような情報の提供が大切であろう。

## 4 具体的な改善策

### 豊かな人間性の育成

あいさつ運動・地域清掃活動の実施・改善  
言葉遣いや身だしなみに関する全校体制による声掛けと指導

### 確かな学力向上と定着

朝読書と朝学習の改善  
宿題への取り組み（問題）  
教科別学習ボード（掲示板）の一層の活用  
向島ゼミナールの改善

### 開かれた学校づくり等

学校だよりの継続（地域の小学校への配布 6年生へ）  
ホームページの更新・改善  
第三者評価の導入  
地域行事への教員および生徒の積極的な参加（生徒会活動を通して）

### 特色ある学校づくり

習熟度別少人数実践研究推進校としてのさらなる研究の継続（理科・数学の少人数TTの研究）  
特別支援校内委員会のさらなる充実  
閉校と統合新校への接続（区教委・地域・保護者・鐘淵中との連携）  
ボランティア活動の積極的な取り組み  
Aブロックの幼小中の連携および推進教師の活用  
近隣高校（墨田川高校）との連携の強化  
東京大学の教授による出前授業（理科）